

宇宙へとひだそう!!

「さあぼうを乗せて!!

三年 谷本 栄太郎

「打ち上げ、5秒前、4、3、2、1、0は
うしゃ。ゴゴゴゴゴオービューン」

大き聲音とともに、宇宙かなたへ999JU
3に向けとびたつH1ⅡAロケットはやぶさ
2だ。JAXAの人たちのゆめときぼうを
のせたはやぶさ2。ぼくは感動した。2014年鹿

児島県種子島宇宙センターから打ち上げられ
たはやぶさ2。1999JU3をたんき

して地球へ帰ってくる日。そして、このたん
きにより46億年前の太陽系のなぞがときあが
されるのだ。日本中、そして、世界中の人の
きぼうをかなえられるのは、はやぶさ2。こ
れだけだ。ぼくは、この前のJAXA大阪
阿陪野ハルカスのイベントで、はやぶさ2の
ミッションをよく知った。

6年間にもおよぶはやぶさ2のミッション。
そしてJAXAの人たちのあきらめないばん。
そこが、無事に打ち上げられたすくいだ。予

算げん界で、もう打ち上げがムリ!! そういうときに追われた時。日本全国の日本人と「AXA」の人たちの心がつながった。あちこちから、ぼくが送くられた予算問題はかい決した。これが、ぼくの感動したわけだ。

4
ぼくの将来のゆめは、飛行機のせ、計士だ。それもスペース・プレーンのような宇宙機だ。それを「AXA」でもやつていると聞いて、ぼくは、おどろいた。だから将来、「AXA」でこの仕事をしようと思った。

5
ぼくは、今の今まで「AXA」の人たちがどこで、何を、だれが、どんなふうにしているか、知らなかつた。でも一つだけ分かつていた。それは、「AXA」の人たちの一生命にがんばるべ。そして、いしが強いと言うこと。なぜなら強いいしがないと、人工えい星ひまわりやこうのとりへはやぶさくそして日本さい先短ぎじゅつをほころはやぶさくの打ち上げは、できなかつた。でも「AXA」はできた。その理由はぼくにも分かる。やつ

ていることはちがつても「AXA」の人のハ
モ「ぼくのハモゼ」たいにあきらめない。ゼ
たいにやりとげる」といういしは、同じじなの
です。そして、その強いいしのおかげで今、
色々ななぞが「AXA」の人たちの力により
とぎあかされるまくを上げ始めているのだ。
これい外に「まわりへひので」あかりへは
るが「あかつき」のぞみへすざくへたんせい
へんせいへたいようへはくちようへさくらう
（はやざくへはやざくなど）を打ち上げ、合
計打ち上げ数は150機以上にも上ると聞いた。

「AXA」はすごい!! とくに、今年8月19日
に打ち上げられた「国（）宇宙ステーション
ほきゅう機（）のとり5号機」は、24日にキ
ヤツチされた。その時はやつぱり「AXA」
はすごいと思つた。ぼくは「AXA」ではた
らきたい!! そして将来ぼくの作つた宇宙機で
宇宙に飛び出したんけんしたいなあ。そして
地球以外の星に住んでみたい。そのため、
しつかり勉強してそういう飛行機を作りたい。

そして、飛ばすんだ。そして JAXA の人と
いつしょに作るんだ。ぜつたいに作るんだ。
自分の作った飛行機がふつうに飛んでいたら
とっても感動しちゃうなあ。

JAXA の人たちも、がんばれ!! ぼくもが
んばる。ゆめに向かって!! きぼうをのせて!!